

永代供養墓（合葬墓） 建立の趣旨

永代供養墓（合葬墓）とは、継承者のいない不特定多数の人のために、清巖寺の責任に於いて半永久的（永代）に御供養管理を行う墓所です。

現代は、地方に於いても好むと好まざるに拘らずシングルライフを送る人の数が益々増えています。その方々も一人残らず自身の死後の安らぎと平穏を求めています。

核家族化・少子化が進む中、離婚をして再婚する気のない人。子供のいない人。子供がいても将来的にはお墓の維持管理を期待しない、またはその負担を子供にかけたくないと考えている人。墓地や墓石を持たない人。お寺との永代的な係わりをしない人等、様々な事情により各家々で墓を建立しこれを代々保持していくことをしないで、永代供養墓（合葬墓）への埋葬を望まれる人の数が多くなっています。

そのような状況の中、松江市内にも数か所の永代供養墓がありますが、この環境の良い玉造の地に於いて、清巖寺の責任により心を込めて、このような人々に心を安らかにして樂しめる余生を提供できるためにとの思いで供養墓建立を計画しました。